

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運 用 方 針	新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主としてJPモルガン社のGB I－EM（ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主 要 投 資 対 象	当 ファ ン ド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新 興 国 国 債 マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
主 な 投 資 制 限	当 ファ ン ド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新 興 国 国 債 マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、1月、4月、7月、10月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

新興国国債オープン （毎月決算型） （愛称 アトラス（毎月決算型））

第222期（決算日 2026年3月12日） 第225期（決算日 2026年6月12日）
第223期（決算日 2026年4月13日） 第226期（決算日 2026年7月13日）
第224期（決算日 2026年5月12日） 第227期（決算日 2026年8月12日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称アトラス（毎月決算型）」は、2026年8月12日に第227期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第222期～第227期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス- エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円		円	%	ポイント	%	%	%	百万円
198期(2024年3月12日)	3,832		10	△0.1	348.275	△0.4	93.8	—	3,627
199期(2024年4月12日)	3,887		10	1.7	357.151	2.5	95.9	—	3,662
200期(2024年5月13日)	3,923		10	1.2	364.077	1.9	91.2	—	3,681
201期(2024年6月12日)	3,877		10	△0.9	362.041	△0.6	93.4	—	3,608
202期(2024年7月12日)	4,035		10	4.3	374.565	3.5	92.6	—	3,738
203期(2024年8月13日)	3,797		10	△5.7	354.410	△5.4	92.3	—	3,492
204期(2024年9月12日)	3,725		10	△1.6	343.887	△3.0	93.2	—	3,400
205期(2024年10月15日)	3,899		10	4.9	366.514	6.6	93.8	—	3,543
206期(2024年11月12日)	3,894		10	0.1	366.694	0.0	94.3	—	3,519
207期(2024年12月12日)	3,857		10	△0.7	364.594	△0.6	92.7	—	3,468
208期(2025年1月14日)	3,822		10	△0.6	365.218	0.2	92.1	—	3,421
209期(2025年2月12日)	3,836		10	0.6	364.829	△0.1	92.2	—	3,424
210期(2025年3月12日)	3,764		10	△1.6	359.973	△1.3	87.4	—	3,347
211期(2025年4月14日)	3,591		10	△4.3	350.870	△2.5	91.1	—	3,178
212期(2025年5月12日)	3,805		10	6.2	366.010	4.3	92.2	—	3,347
213期(2025年6月12日)	3,844		10	1.3	374.252	2.3	92.5	—	3,368
214期(2025年7月14日)	3,964		10	3.4	387.130	3.4	94.2	—	3,452
215期(2025年8月12日)	4,053		10	2.5	391.704	1.2	93.7	—	3,508
216期(2025年9月12日)	4,095		10	1.3	396.414	1.2	94.9	—	3,496
217期(2025年10月14日)	4,225		10	3.4	410.365	3.5	94.7	—	3,585
218期(2025年11月12日)	4,351		10	3.2	420.736	2.5	92.5	—	3,662
219期(2025年12月12日)	4,429		10	2.0	428.192	1.8	91.3	—	3,733
220期(2026年1月13日)	4,553		10	3.0	442.252	3.3	91.3	—	3,817
221期(2026年2月12日)	4,537		10	△0.1	441.176	△0.2	93.0	—	3,761
222期(2026年3月12日)	4,551		10	0.5	446.142	1.1	92.9	—	3,760
223期(2026年4月13日)	4,604		10	1.4	450.771	1.0	94.0	—	3,790
224期(2026年5月12日)	4,529		10	△1.4	444.164	△1.5	93.8	—	3,729
225期(2026年6月12日)	4,525		10	0.1	449.543	1.2	85.9	—	3,683
226期(2026年7月13日)	4,574		10	1.3	459.855	2.3	91.3	—	3,674
227期(2026年8月12日)	4,505		10	△1.3	456.125	△0.8	93.4	—	3,591

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。(以下同じ。)

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

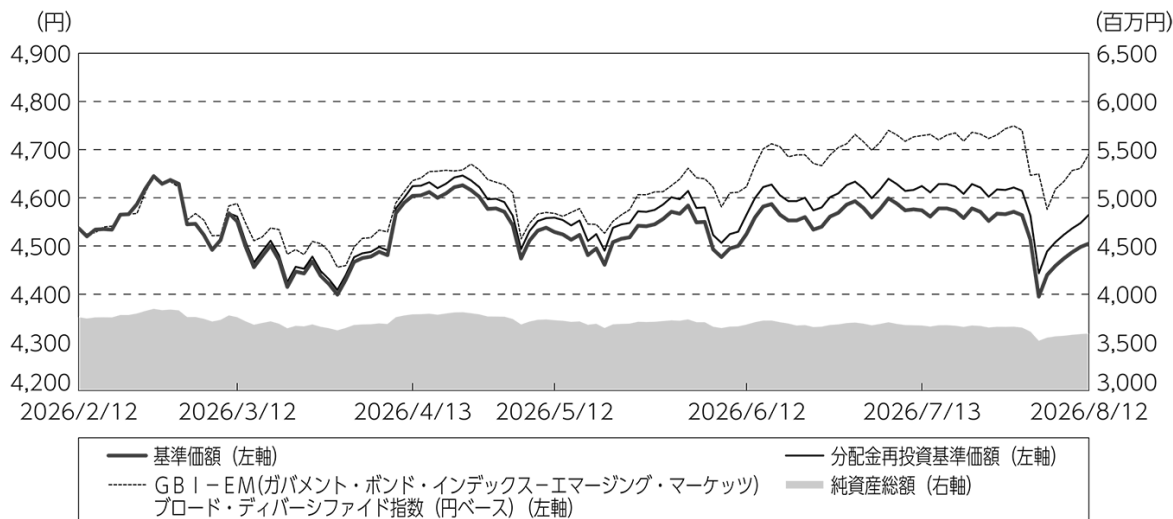
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第222期	(期 首) 2026年 2 月12日	円 4,537	% —	ポイント 441.176	% —	% 93.0	% —
	2 月末	4,629	2.0	450.239	2.1	93.0	—
	(期 末) 2026年 3 月12日	4,561	0.5	446.142	1.1	92.9	—
第223期	(期 首) 2026年 3 月12日	4,551	—	446.142	—	92.9	—
	3 月末	4,399	△3.3	433.291	△2.9	93.6	—
	(期 末) 2026年 4 月13日	4,614	1.4	450.771	1.0	94.0	—
第224期	(期 首) 2026年 4 月13日	4,604	—	450.771	—	94.0	—
	4 月末	4,543	△1.3	448.332	△0.5	93.6	—
	(期 末) 2026年 5 月12日	4,539	△1.4	444.164	△1.5	93.8	—
第225期	(期 首) 2026年 5 月12日	4,529	—	444.164	—	93.8	—
	5 月末	4,556	0.6	448.534	1.0	94.4	—
	(期 末) 2026年 6 月12日	4,535	0.1	449.543	1.2	85.9	—
第226期	(期 首) 2026年 6 月12日	4,525	—	449.543	—	85.9	—
	6 月末	4,586	1.3	458.216	1.9	91.7	—
	(期 末) 2026年 7 月13日	4,584	1.3	459.855	2.3	91.3	—
第227期	(期 首) 2026年 7 月13日	4,574	—	459.855	—	91.3	—
	7 月末	4,513	△1.3	451.842	△1.7	93.0	—
	(期 末) 2026年 8 月12日	4,515	△1.3	456.125	△0.8	93.4	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2026年2月13日～2026年8月12日）



第222期首：4,537円

第227期末：4,505円（既払分配金（税引前）：60円）

騰 落 率： 0.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、GB I-E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2026年2月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・メキシコペソやブラジルレアルなどの投資通貨が対円で上昇したこと。

（主なマイナス要因）

- ・インドネシアやポーランドなど多くの投資国において、保有債券の利回りが上昇し価格が下落したこと。
- ・インドネシアルピアやタイバーツなどの投資通貨が対円で下落したこと。

投資環境

（2026年2月13日～2026年8月12日）

<新興国の国債市場>

新興国の国債市場では、米国とイランの軍事衝突を受けた原油価格の急騰によりインフレ懸念が高まり、2026年3月には利回りが大幅に上昇（価格は下落）しました。しかし、4月以降は、中東情勢を巡る不透明感から原油価格が乱高下するなか、利回りは方向感に乏しく、上下する展開が続きました。この結果、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバースィファイド指数の平均利回りは、前作成期末の5.83%から6.21%に上昇して作成期末を迎えました。

<為替市場>

為替市場では、中東情勢の混迷や高市政権の財政拡張路線に対する懸念を背景に米ドル／円相場が上昇基調となるなか、新興国通貨も対円で総じて堅調に推移しました。しかし、2026年7月末には、日米両政府による円買いの協調介入を受け、新興国通貨は対円で反落しました。この結果、当作成期間においては、中国人民元や中南米通貨が上昇する一方、インドネシアルピアやタイバーツが下落するなど、通貨によりまちまちな動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2026年2月13日～2026年8月12日）

<新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>

「新興国国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○新興国国債マザーファンド

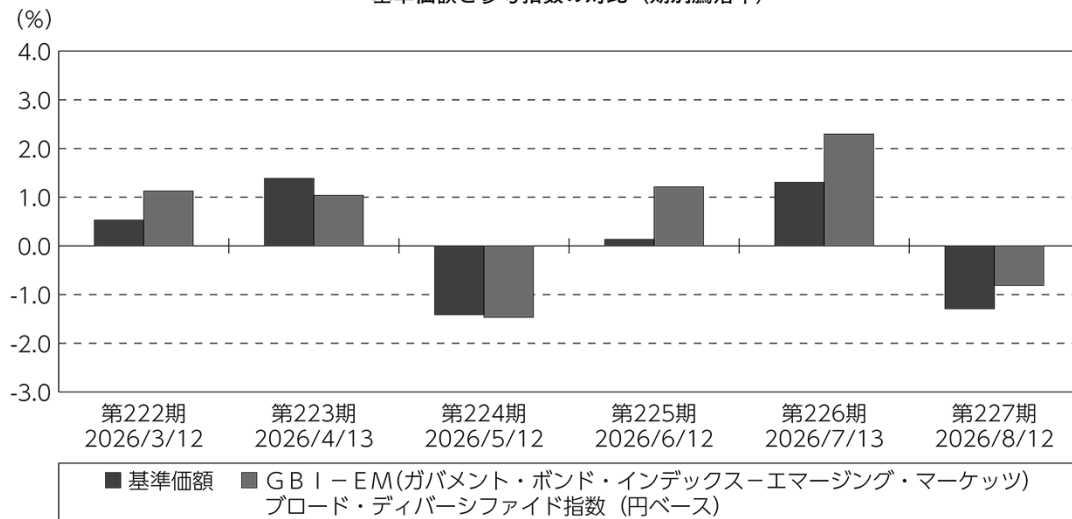
JPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースィファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当作成期間においては、12カ国、12通貨（日本および円は除いています）に投資を行いました。当作成期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。作成期末時点の新興国国債の投資比率は93.8%、外貨の投資比率は96.0%、投資国上位は、メキシコ、ブラジル、マレーシア、南アフリカとなっています。国別の投資比率は、マレーシアの投資比率を引き上げたほか、ハンガリーへの投資を再開しました。一方、インドネシア、ポーランド、南アフリカの投資比率を引き下げました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、前作成期末とほぼ同水準となる4.5年台で作成期末を迎えました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2026年2月13日～2026年8月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

分配金

（2026年2月13日～2026年8月12日）

当作成期の分配金につきましては、分配方針に則り、以下のとおりいたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
	2026年2月13日～ 2026年3月12日	2026年3月13日～ 2026年4月13日	2026年4月14日～ 2026年5月12日	2026年5月13日～ 2026年6月12日	2026年6月13日～ 2026年7月13日	2026年7月14日～ 2026年8月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.219%	10 0.217%	10 0.220%	10 0.221%	10 0.218%	10 0.221%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	514	525	530	536	578	583

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

新興国の国債市場は、中東情勢をめぐる不透明感が残るなか、引き続き方向感を探る展開が続くと見えています。また、今後は米国をはじめとする先進国の中央銀行による利上げが見込まれることから、新興国の国債利回りにも上昇圧力がかかる局面があると考えています。

為替市場では、日米両政府による円買い協調介入を受けて、当面は一段の円安が進行する可能性は低いと判断しています。今後は、日銀の利上げペースに注目が集まりやすいと見えています。一方、国内投資家や企業による根強い円売り需要に加え、相対的に利回り水準の高い新興国の国債市場への投資資金の流入が期待されることから、新興国通貨は対円で底堅く推移すると考えています。

（運用方針）

＜新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））＞

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○新興国国債マザーファンド

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としているJ Pモルガン社のG B I－EMブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2026年 2 月13日～2026年 8 月12日）

項 目	第222期～第227期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0.338)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.327)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.033	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	33	0.742	
作成期間中の平均基準価額は、4,537円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

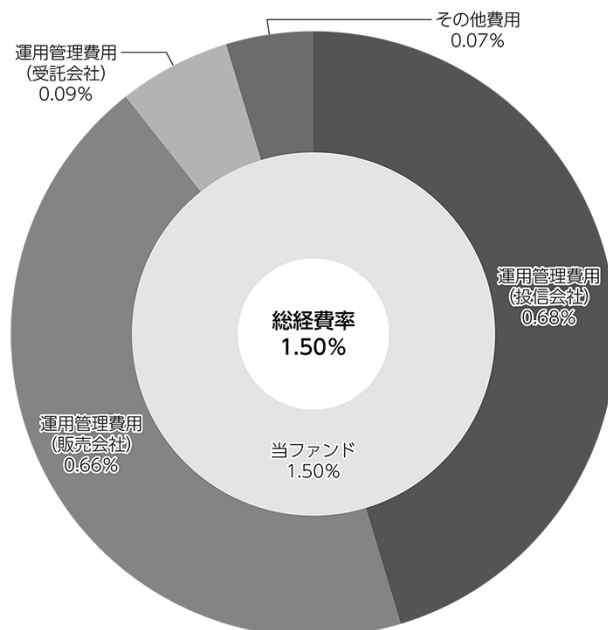
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年2月13日～2026年8月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第222期～第227期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
新興国国債マザーファンド		—	—	97,321	218,157

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2026年2月13日～2026年8月12日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年8月12日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第221期末	第227期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
新興国国債マザーファンド		1,685,249	1,587,927	3,574,265

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年8月12日現在）

項 目	第227期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国国債マザーファンド	3,574,265	99.1
コール・ローン等、その他	30,857	0.9
投資信託財産総額	3,605,122	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国国債マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（3,491,654千円）の投資信託財産総額（3,636,057千円）に対する比率は96.0%です。

（注）外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ＝9.3378円、1ブラジルレアル＝30.8643円、1ペルーソル＝47.3531円、1トルコリラ＝3.3393円、1ハンガリーフォリント＝0.50327円、1ポーランドズロチ＝42.7534円、1ロシアルーブル＝1.93円、1マレーシアリンギット＝38.9525円、1タイバーツ＝4.81円、1インドネシアルピア＝0.009円、1南アフリカランド＝9.85円、1オフショア元＝23.6161円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末	第227期末
	2026年3月12日現在	2026年4月13日現在	2026年5月12日現在	2026年6月12日現在	2026年7月13日現在	2026年8月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,778,186,414	3,804,338,504	3,742,951,485	3,700,136,093	3,691,985,319	3,605,122,856
コール・ローン等	31,447,769	31,792,440	32,040,609	32,438,295	34,696,722	30,856,621
新興国国債マザーファンド(評価額)	3,746,738,059	3,772,545,567	3,710,910,492	3,667,697,484	3,657,287,791	3,574,265,523
未収利息	586	497	384	314	806	712
(B) 負債	17,623,969	13,982,743	13,716,895	16,158,228	17,442,401	13,577,446
未払収益分配金	8,263,447	8,232,376	8,234,809	8,141,553	8,034,092	7,972,181
未払解約金	5,176,149	1,074,168	1,176,808	3,479,222	4,887,606	1,298,673
未払信託報酬	4,146,111	4,633,441	4,265,911	4,495,966	4,479,367	4,267,212
その他未払費用	38,262	42,758	39,367	41,487	41,336	39,380
(C) 純資産総額(A－B)	3,760,562,445	3,790,355,761	3,729,234,590	3,683,977,865	3,674,542,918	3,591,545,410
元本	8,263,447,748	8,232,376,713	8,234,809,944	8,141,553,574	8,034,092,861	7,972,181,017
次期繰越損益金	△4,502,885,303	△4,442,020,952	△4,505,575,354	△4,457,575,709	△4,359,549,943	△4,380,635,607
(D) 受益権総口数	8,263,447,748口	8,232,376,713口	8,234,809,944口	8,141,553,574口	8,034,092,861口	7,972,181,017口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,551円	4,604円	4,529円	4,525円	4,574円	4,505円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第222期4,502,885,303円、第223期4,442,020,952円、第224期4,505,575,354円、第225期4,457,575,709円、第226期4,359,549,943円、第227期4,380,635,607円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第222期0.4551円、第223期0.4604円、第224期0.4529円、第225期0.4525円、第226期0.4574円、第227期0.4505円です。

(注) 当ファンドの第222期首元本額は8,290,734,178円、第222～227期中追加設定元本額は36,672,313円、第222～227期中一部解約元本額は355,225,474円です。

○損益の状況

項 目	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
	2026年 2月13日～ 2026年 3月12日	2026年 3月13日～ 2026年 4月13日	2026年 4月14日～ 2026年 5月12日	2026年 5月13日～ 2026年 6月12日	2026年 6月13日～ 2026年 7月13日	2026年 7月14日～ 2026年 8月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	7,906	8,993	9,099	7,100	12,288	11,744
受取利息	7,906	8,993	9,099	7,100	12,288	11,744
(B) 有価証券売買損益	23,819,990	56,811,115	△ 49,695,455	9,568,398	51,643,133	△ 42,466,337
売買益	23,984,069	57,232,863	36,727	9,891,108	52,074,110	397,858
売買損	△ 164,079	△ 421,748	△ 49,732,182	△ 322,710	△ 430,977	△ 42,864,195
(C) 信託報酬等	△ 4,184,373	△ 4,676,199	△ 4,305,278	△ 4,537,453	△ 4,520,703	△ 4,306,592
(D) 当期損益金 (A + B + C)	19,643,523	52,143,909	△ 53,991,634	5,038,045	47,134,718	△ 46,761,185
(E) 前期繰越損益金	△1,855,445,522	△1,836,810,520	△1,787,549,214	△1,828,492,455	△1,807,103,569	△1,754,028,716
(F) 追加信託差損益金	△2,658,819,857	△2,649,121,965	△2,655,799,697	△2,625,979,746	△2,591,547,000	△2,571,873,525
(配当等相当額)	(53,773,869)	(53,635,920)	(54,890,889)	(54,353,502)	(53,685,097)	(53,341,761)
(売買損益相当額)	(△2,712,593,726)	(△2,702,757,885)	(△2,710,690,586)	(△2,680,333,248)	(△2,645,232,097)	(△2,625,215,286)
(G) 計 (D + E + F)	△4,494,621,856	△4,433,788,576	△4,497,340,545	△4,449,434,156	△4,351,515,851	△4,372,663,426
(H) 収益分配金	△ 8,263,447	△ 8,232,376	△ 8,234,809	△ 8,141,553	△ 8,034,092	△ 7,972,181
次期繰越損益金 (G + H)	△4,502,885,303	△4,442,020,952	△4,505,575,354	△4,457,575,709	△4,359,549,943	△4,380,635,607
追加信託差損益金	△2,658,819,857	△2,649,121,965	△2,655,799,697	△2,625,979,746	△2,591,547,000	△2,571,873,525
(配当等相当額)	(53,778,686)	(53,637,470)	(54,922,632)	(54,354,838)	(53,686,713)	(53,343,345)
(売買損益相当額)	(△2,712,598,543)	(△2,702,759,435)	(△2,710,722,329)	(△2,680,334,584)	(△2,645,233,713)	(△2,625,216,870)
分配準備積立金	371,736,751	378,750,638	381,717,591	382,324,878	410,971,628	411,702,620
繰越損益金	△2,215,802,197	△2,171,649,625	△2,231,493,248	△2,213,920,841	△2,178,974,571	△2,220,464,702

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
(a) 配当等収益(費用控除後)	13,161,402円	16,677,616円	12,305,599円	13,045,489円	41,685,599円	11,885,111円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	53,778,686円	53,637,470円	54,922,632円	54,354,838円	53,686,713円	53,343,345円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	366,838,796円	370,305,398円	377,646,801円	377,420,942円	377,320,121円	407,789,690円
分配対象収益(a+b+c+d)	433,778,884円	440,620,484円	444,875,032円	444,821,269円	472,692,433円	473,018,146円
分配対象収益(1万円当たり)	524円	535円	540円	546円	588円	593円
分配金額	8,263,447円	8,232,376円	8,234,809円	8,141,553円	8,034,092円	7,972,181円
分配金額(1万円当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
1 万口当たり分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

＜お知らせ＞

・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2026年4月1日）

新興国国債マザーファンド
第19期 運用状況のご報告
決算日：2026年8月12日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPMorgan社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	期騰落中率	（参考指数）	期騰落中率			
15期(2022年8月12日)	13,883	8.1	ポイント 281.919	% 4.6	% 96.1	% —	百万円 3,844
16期(2023年8月14日)	16,335	17.7	333.059	18.1	91.0	—	3,828
17期(2024年8月13日)	17,374	6.4	354.410	6.4	92.7	—	3,563
18期(2025年8月12日)	19,421	11.8	391.704	10.5	94.1	—	3,546
19期(2026年8月12日)	22,509	15.9	456.125	16.4	93.8	—	3,636

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日のデータです。（以下同じ。）

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

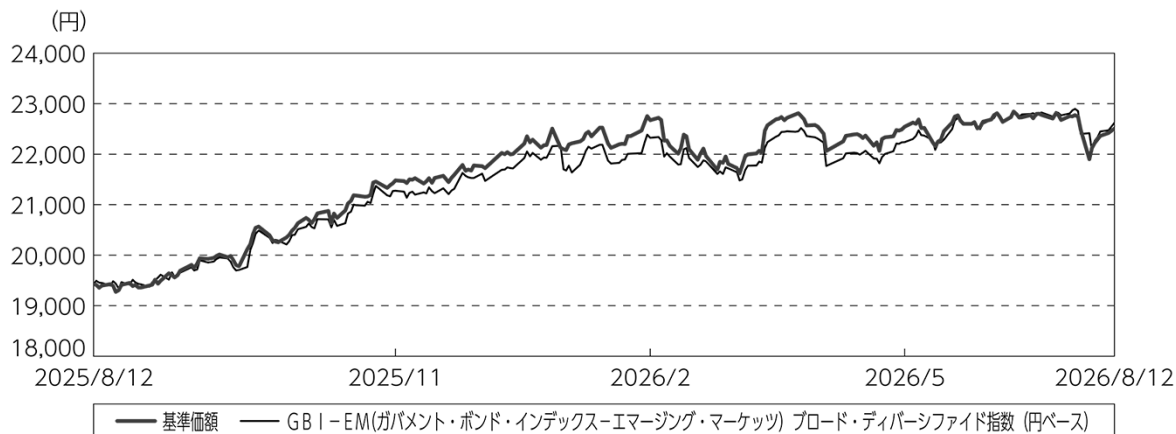
年 月 日	基 準 価 額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・ インデックスー エマージング・ マーケット) ブロード・ディバース ファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2025年 8月12日	円 19,421	% —	ポイント 391.704	% —	% 94.1	% —
8 月末	19,358	△ 0.3	391.693	△ 0.0	94.5	—
9 月末	19,984	2.9	400.805	2.3	94.6	—
10月末	20,827	7.2	417.802	6.7	92.4	—
11月末	21,481	10.6	429.095	9.5	91.5	—
12月末	21,727	11.9	433.115	10.6	91.8	—
2026年 1 月末	22,218	14.4	436.479	11.4	91.1	—
2 月末	22,675	16.8	450.239	14.9	93.3	—
3 月末	21,621	11.3	433.291	10.6	94.1	—
4 月末	22,406	15.4	448.332	14.5	94.1	—
5 月末	22,547	16.1	448.534	14.5	94.7	—
6 月末	22,776	17.3	458.216	17.0	92.1	—
7 月末	22,488	15.8	451.842	15.4	93.3	—
(期 末) 2026年 8月12日	22,509	15.9	456.125	16.4	93.8	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年8月13日～2026年8月12日)



(注) 参考指数は、GB I-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2025年8月12日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・南アフリカなど一部の投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・南アフリカランドやメキシコペソなど多くの投資通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・インドネシアやマレーシアなどの投資国において、保有債券の利回りが上昇し価格が下落したこと。
- ・トルコリラ、インドネシアルピアが対円で下落したこと。

投資環境

(2025年8月13日～2026年8月12日)

<新興国の国債市場>

新興国の国債市場では、多くの国が金融緩和スタンスを維持したことに加え、米連邦準備制度理事会（F R B）が利下げを再開したこと、2026年2月までは総じて利回りが低下（価格は上昇）しました。しかし、その後は、米国とイランの軍事衝突を受けた原油価格の急騰によりインフレ懸念が高まり、3月には利回りが大幅に上昇（価格は下落）しました。しかし、4月以降は、中東情勢を巡る不透明感から原油価格が乱高下するなか、利回りは方向感に乏しく、上下する展開が続きました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）である J P モルガン社の G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、前期末の5.90%から6.21%に上昇して期末を迎えました。

<為替市場>

為替市場では、世界的な株高を背景に投資家のリスク選好の動きが続いたことや、拡張的な財政政策と緩和的な金融政策を掲げる高市首相の誕生を受けて円売り圧力が強まったことから、新興国通貨が対円で堅調に推移しました。また、米国とイランの軍事衝突後に米ドル／円相場の上昇基調が続いたことも、新興国通貨の対円での上昇を後押ししました。しかし、2026年7月末には、日米両政府による円買いの協調介入を受け、新興国通貨は対円で反落しました。当期間においては、南アフリカランドやメキシコペソを筆頭に多くの投資通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年8月13日～2026年8月12日)

J P モルガン社の G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（G D P）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、12カ国、12通貨（日本および円は除いています）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国国債の投資比率は93.8%、外貨の投資比率は96.0%、投資国上位は、メキシコ、ブラジル、マレーシア、南アフリカとなっています。国別の投資比率は、マレーシアの投資比率を引き上げたほか、ハンガリーへの投資を再開しました。一方、ポーランド、インドネシア、南アフリカの投資比率を引き下げました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、前期末と比較し小幅な短期化となる4.5年台で期末を迎えました。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

新興国の国債市場は、中東情勢をめぐる不透明感が残るなか、引き続き方向感を探る展開が続くと見えています。また、今後は米国をはじめとする先進国の中央銀行による利上げが見込まれることから、新興国の国債利回りにも上昇圧力がかかる局面があると考えています。

為替市場では、日米両政府による円買い協調介入を受けて、当面は一段の円安が進行する可能性は低いと判断しています。今後は、日銀の利上げペースに注目が集まりやすいと見えています。一方、国内投資家や企業による根強い円売り需要に加え、相対的に利回り水準の高い新興国の国債市場への投資資金の流入が期待されることから、新興国通貨は対円で底堅く推移すると考えています。

(運用方針)

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としている J P モルガン社の G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 8 月13日～2026年 8 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) そ の 他 費 用	11	0.051	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(11)	(0.051)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	11	0.051	
期中の平均基準価額は、21,675円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年 8 月13日～2026年 8 月12日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券		千円	千円
			308,970	309,043
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ	千メキシコペソ
			23,693	26,531
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル
			8,606	10,081
	ハンガリー	国債証券	千ハンガリーフォリント	千ハンガリーフォリント
			325,079	—
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ
			—	3,408
国	マレーシア	国債証券	千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット
			2,996	—
	タイ	国債証券	千タイバーツ	千タイバーツ
			43,398	45,397
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア
			—	8,052,000
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド	千南アフリカランド
			27,520	49,521

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年8月13日～2026年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年8月12日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 60,000	千メキシコペソ 55,935	千円 522,314	% 14.4	% —	% 13.3	% 1.0	% —
ブラジル	千ブラジルレアル 19,300	千ブラジルレアル 15,666	483,525	13.3	13.3	13.3	—	—
ペルー	千ペルーソル 5,201	千ペルーソル 5,778	273,638	7.5	—	7.5	—	—
トルコ	千トルコリラ 24,000	千トルコリラ 21,792	72,770	2.0	2.0	—	2.0	—
ハンガリー	千ハンガリーフォリント 300,000	千ハンガリーフォリント 320,718	161,407	4.4	—	4.4	—	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 6,900	千ポーランドズロチ 7,105	303,774	8.4	—	8.4	—	—
ロシア	千ロシアルーブル 165,000	千ロシアルーブル 0.00016	0.0003088	0.0	0.0	—	—	0.0
マレーシア	千マレーシアリンギット 11,800	千マレーシアリンギット 12,265	477,782	13.1	—	7.7	5.4	—
タイ	千タイバーツ 43,000	千タイバーツ 42,661	205,200	5.6	—	—	5.6	—
インドネシア	千インドネシアルピア 36,000,000	千インドネシアルピア 37,122,200	334,099	9.2	—	5.3	3.9	—
南アフリカ	千南アフリカランド 38,000	千南アフリカランド 38,759	381,784	10.5	10.5	10.5	—	—
中国オフショア	千オフショア元 8,000	千オフショア元 8,300	196,021	5.4	—	—	—	5.4
合 計	—	—	3,412,320	93.8	—	70.4	18.0	5.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B格以下組入比率には、無格付を含みます。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ			%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	国債証券	MEXICAN BONOS 7.75	7.75	31,000	28,714	268,126	2034/11/23
		MEXICAN BONOS 8	8.0	25,000	23,184	216,494	2036/2/21
		MEXICAN BONOS 8.5	8.5	4,000	4,036	37,694	2030/2/28
小 計						522,314	
ブラジル				千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
	国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	5,400	4,503	138,990	2033/1/1
		BRAZIL NTN-F 10	10.0	13,900	11,162	344,535	2035/1/1
小 計						483,525	
ペルー				千ペルーソル	千ペルーソル		
	国債証券	PERU B SOBERANO 7.3	7.3	5,201	5,778	273,638	2033/8/12
小 計						273,638	
トルコ				千トルコリラ	千トルコリラ		
	国債証券	TURKIYE GOV BOND 31.08	31.08	24,000	21,792	72,770	2028/11/8
小 計						72,770	
ハンガリー				千ハンガリーフォリント	千ハンガリーフォリント		
	国債証券	HUNGARY GOVT 6	6.0	150,000	154,323	77,666	2033/7/27
		HUNGARY GOVT 7	7.0	150,000	166,395	83,741	2035/10/24
小 計						161,407	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	POLAND GOVT BOND 6	6.0	6,900	7,105	303,774	2033/10/25
小 計						303,774	
ロシア				千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
	国債証券	RUSSIA-OFZ 7.05	0.0	165,000	0.00016	0.0003088	2028/1/19
小 計						0.0003088	
マレーシア				千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	MALAYSIA GOVT 3.885	3.885	5,000	5,070	197,524	2029/8/15
		MALAYSIA GOVT 4.642	4.642	6,800	7,194	280,258	2033/11/7
小 計						477,782	
タイ				千タイバーツ	千タイバーツ		
	国債証券	THAILAND GOVT 1.34	1.34	43,000	42,661	205,200	2031/3/17
小 計						205,200	
インドネシア				千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
	国債証券	INDONESIA GOV'T 7	7.0	16,000,000	15,901,600	143,114	2030/9/15
		INDONESIA GOV'T 8.25	8.25	20,000,000	21,220,600	190,985	2036/5/15
小 計						334,099	
南アフリカ				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	REP SOUTH AFRICA 8.25	8.25	13,000	13,077	128,817	2032/3/31
		REP SOUTH AFRICA 8.875	8.875	25,000	25,682	252,967	2035/2/28
小 計						381,784	
中国オフショア				千オフショア元	千オフショア元		
	国債証券	CHINA GOVT BOND 3.82	3.82	8,000	8,300	196,021	2027/11/2
小 計						196,021	
合 計						3,412,320	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 利率は、期末における利率です。

○投資信託財産の構成

(2026年 8 月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 3, 412, 320	% 93. 8
コール・ローン等、その他	223, 737	6. 2
投資信託財産総額	3, 636, 057	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (3, 491, 654千円) の投資信託財産総額 (3, 636, 057千円) に対する比率は96. 0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1 メキシコペソ=9. 3378円、1 ブラジルレアル=30. 8643円、1 ペルーソル=47. 3531円、1 トルコリラ=3. 3393円、1 ハンガリーフォリント=0. 50327円、1 ポーランドズロチ=42. 7534円、1 ロシアルーブル=1. 93円、1 マレーシアリンギット=38. 9525円、1 タイバーツ=4. 81円、1 インドネシアルピア=0. 009円、1 南アフリカランド=9. 85円、1 オフショア元=23. 6161円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年 8 月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3, 636, 057, 793
コール・ローン等	144, 407, 623
公社債(評価額)	3, 412, 320, 377
未収利息	73, 927, 416
前払費用	5, 402, 377
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	3, 636, 057, 793
元本	1, 615, 395, 792
次期繰越損益金	2, 020, 662, 001
(D) 受益権総口数	1, 615, 395, 792口
1万円当たり基準価額(C／D)	22, 509円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2. 2509円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1, 825, 954, 787円、期中追加設定元本額は13, 367, 342円、期中一部解約元本額は223, 926, 337円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国国債オープン(毎月決算型)(愛称 アトラス(毎月決算型))
1, 587, 927, 284円
新興国国債オープン(1年決算型)(愛称 アトラス(1年決算型))
27, 468, 508円

○損益の状況 (2025年 8 月13日～2026年 8 月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	266, 092, 029
受取利息	266, 025, 866
その他収益金	66, 163
(B) 有価証券売買損益	280, 109, 765
売買益	384, 180, 424
売買損	△ 104, 070, 659
(C) その他費用等	△ 1, 901, 173
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	544, 300, 621
(E) 前期繰越損益金	1, 720, 250, 146
(F) 追加信託差損益金	15, 330, 212
(G) 解約差損益金	△ 259, 218, 978
(H) 計(D＋E＋F＋G)	2, 020, 662, 001
次期繰越損益金(H)	2, 020, 662, 001

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2026年4月1日)